令和8年11月
旭川方面旭川東警察署

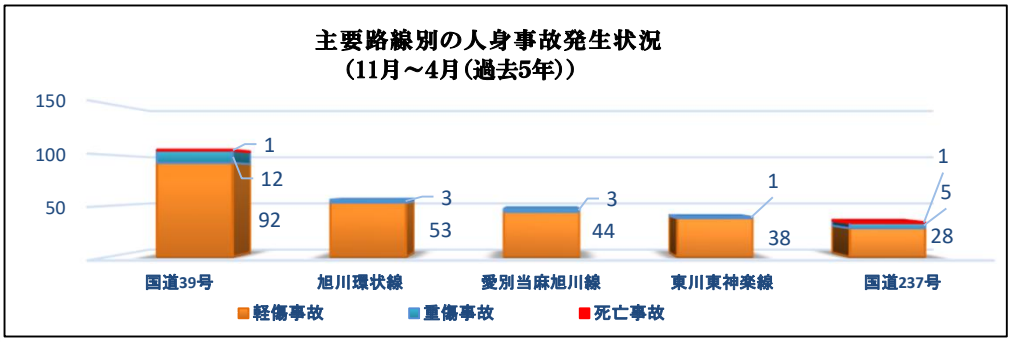
速度取締指針(令和8年11月から令和9年4月)

旭川東警察署の速度取締りの重点

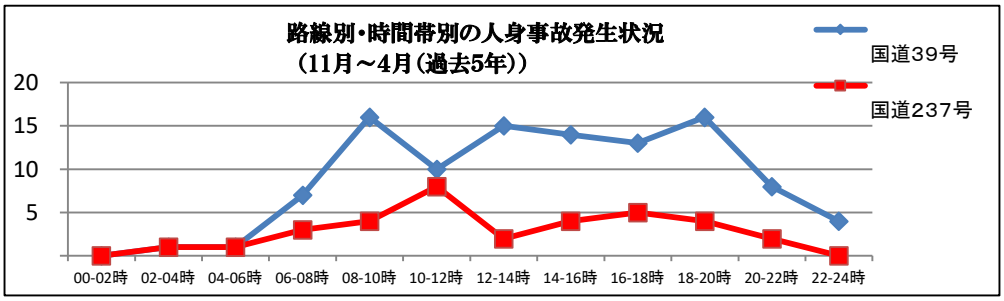
路線	時間帯	地域	規制速度
国道39号	8時～20時	市街地 郊外	指定40km/h、50km/h 法定速度(60km/h)
国道237号	8時～20時	市街地 郊外	指定40km/h、50km/h 法定速度(60km/h)

重点以外の路線や時間帯についても、必要に応じて取締りを実施します。

旭川東警察署管内の交通事故実態等



○ 主要路線の人身事故の発生状況をみると、国道39号が最多で、次いで旭川環状線、愛別当麻旭川線が続きます。
○ 重傷事故の発生割合は、国道39号が最多で、次いで国道237号が続きます。
○ 国道39号、国道237号で死亡事故が発生してます。



○ 時間帯別の人身事故発生状況をみると、
・国道39号
・国道237号
は、車両と歩行者の交通量が増える、
8時から20時の間に多く発生しています。

道路交通環境等

○ 国道39号は旭川と北見方面を結ぶ主要道路で、交通量が多く実勢速度も高い路線です。
大型車両の往来が激しく、死者や重傷者が生じる交通事故が発生しています。
○ 国道237号は、旭川市と富良野市などを結ぶ主要道路で、通勤に伴う車両や登下校の児童、高齢歩行者等の交通量が多い路線です。
死者や重傷者が生じる交通事故の発生割合が他の路線より高くなっています。
○ 市道は、主要道路への抜け道となっているほか、小学校の通学路になっている路線が多いことから、登下校中における交通事故の発生が懸念されます。

その他の交通指導取締りの要点

飲酒運転、交差点違反(一時不停止、横断歩行者等妨害等)、シートベルト違反等の取締りを強化します。

令和8年5月から令和8年10月までの交通事故発生状況

重点路線	時間帯	地域	規制速度	取締回数	人身事故件数
国道39号	8～20時	市街地・郊外	法定、指定40、50km/h	23回	15(前年比-6)
国道237号	8～20時	市街地・郊外	法定、指定40、50km/h	29回	10(前年比+3)